

“わたしのまち”

特別区 競馬組合

アマミューズメントパークに進化する大井競馬場

「リニューアルでさらにファミリィで楽しめる競馬場に」

東京23区唯一の競馬場が品川区にある大井競馬場です。

大井競馬場は、日本初のナイター競馬の開催や日本初となる競馬観戦型レストラン

「ダイヤモンドターンの設置など、国内の競馬場の中で先進的な取り組みを行ってきました。

平成28年11月には、オープンスペース「ウマイルスクエア」が完成し、

アマミューズメントパークとしても注目を集める大井競馬場の見どころを紹介します。



新スポット誕生「ウマイルスクエア」

大井競馬場では、老朽化した旧3号スタンドを解体し再整備して、新たにイベントスペース「ウマイルスクエア (UMILE SQUARE)」をオープンしました。

この「ウマイルスクエア」は、インターロッキング(コンクリートブロックをレンガ調に組合せた舗装方法)や天然芝が敷き詰められた10,000㎡もの広い空間で、馬場が目の前に広がる開放感が大きな特徴です。今後音楽や展示会、フードフェスなど多様なイベントに活用していきます。

「ウマイルスクエア」は、競馬開催日のみならず競馬非開催日にも、365日活用できる。地域と共生する、都

市型アマミューズメントパークとして活用することを考えており、すでにこのスペースを最大限に活用したイベントが実施されています。

平成28年11月26日(土)、27日(日)は、「ウマイルスクエア (UMILE SQUARE)」オープンを記念し、「全国ねぎサミット2016 in TOKYO」が開催されました。

特別区全国連携プロジェクトとは…

東京を含む全国各地域がともに発展・成長し、共存共栄を図ることを目的に、特別区(東京23区)と全国の各地域が連携・交流事業を行う取組みとして平成26年9月に特別区長会が立ち上げました。



ウマイルスクエアでは、平成28年11月26日～27日に「全国ねぎサミット2016 in TOKYO×肉フェス」が行われた。12月26日～31日には【TCKラーメン★餃子フェス2016】も開催される



大井競馬場では非開催時にもさまざまなイベントが行われている。平成28年12月4日には「第6回 競馬RUNin大井競馬場」が開催。普段入ることができない競馬場のダートコースで、ランナーが馬になりきって駆け抜けるマラソンイベント（画像は昨年の様子）

全国の主要ねぎ産地が、ねぎの魅力
をPRし国産ねぎの消費拡大や地域の
活性化することを目的に、平成22年よ
り毎年開催されているものです。
第7回目の今年も東京で初開催とな
り、国内最大級のフードフェス「肉フ
ェス[®]」とコラボレーションし、全国
28市町村のねぎと肉の料理などが振舞
われました。また、東京都内（島しょ

2016」(Tokyo Walker presents)
が開催されます。
近年、年末には毎年ラーメンイベン
トを開催していますが、今年には有名ラ
ーメン店のほかに、おいしい餃子のお
店も集結する予定です。また、競馬開
催日のため、競走馬を身近に感じなが
ら、食イベントを楽しむことができま
す。

含む)の農産物や水産物を紹介
する「東京トウインクルマルシ
ェ」も同時開催され、多くの来
場者でにぎわいました。
年末の競馬開催日、12月26
日(月)から12月31日(土)は、
「TCKラーメン★餃子フェス

ゴール前を一望「G・FRONT」

平成27年11月に完成した「G・FRONT」は、これまでの競馬場の建物とは違った、個の空間を重視した観戦スタンドです。

建物は3階建てになっており、1階にはフードコートや、エキサイティングシート(屋外一般席1287席)が設置されています。エキサイティングシートは本馬場の近くまでせり出しており、レースの迫力を間近に楽しめるようになっています。

2階には、ヴィクトリーシート(屋内指定席272席)や売店が設置されています。特にヴィクトリーシートは、ゴール直前の興奮を空調が完備された快適な環境で楽しむことができます。

3階のフロアは場内で最も上質な空間で、オールキャッシュレスで在席投票を楽しめる会員制指定席エリアになっています。

プライムシート(在席投票指定席172席)は一人ずつの空間を重視した独立タイプ座席になっています。また、グループで楽しめるようにプライムボックス(4名用半個室屋内指定席、6部屋)やプライムルーム(8名用個室

“初めて”が多い、大井競馬場

大井競馬場は、国内の競馬場の中でも新たな試み、出来事が多い競馬場です。

- 日本初のゴール写真判定装置の導入(1950年9月)
- 騎手服・日本初の枠別の帽色の採用(1953年1月)
- 日本初のスターティングゲート採用(1953年3月)
- 日本初のパトロールフィルム制度の採用(1955年4月)
- 日本初の夜間競馬をトウインクルレースとして10月2日までの25日間開催(1986年7月)
- 50円から買える馬券「トリプル馬単」の発売開始(2014年6月)

屋内指定席、4部屋)も用意されています。

各席にはタッチパネル式在席投票端末が設置され、過去のレース映像やオッズ、パドック映像などの情報を簡単に見ることが出来ます。その他にも、上質な空間を意識した飲食店やクロークサービス、購入履歴に応じた会員サービスも用意されています。

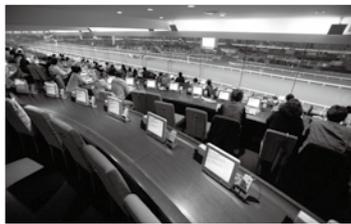
ゴール前のレースの迫力を間近に感じながら、豪華で優雅な競馬観戦を堪能することが出来ます。

場内にはほかにも仲間と楽しむのに最適な高層スタンド「L・WING」



快適でゆったりとした空間
の中での競馬観戦は、ぜいたくな楽しみ方だ

平成27年11月に完成した「G-FRONT」。個の空間を重視した観戦スタンドだ



競馬観戦型レストラン「ダイヤモンドタワー」の少人数でも楽しめるカウンター席。おいしいものを食べながらの競馬観戦は魅力的だ



ダイヤモンドタワーにはグループシートやパーティールーム、デラックスルームといった大人数向けの部屋もあり、大勢で楽しむこともできる

や大井競馬場の歴史を感じるクラシックな雰囲気「4号スタンド」なども

食事をしながら観戦「ダイヤモンドタワー」

あり、状況に応じてさまざまな場所でも観戦を楽しむことができます。

大井競馬場は、競馬において国内初の取組が多いことで知られています。平成13年6月に開設された競馬観戦レストラン「ダイヤモンドタワー」は、国内の競馬場でも唯一の、本格的な料理をbuffetスタイルで楽しみながら、一日中優雅に白熱したレースを観戦す

ることができるとして登場し、大きな話題になりました。その後も多くの人に親しまれ、今年で16年目を迎えました。フレンチの名店「クイーン・アリス」のシェフによる季節感にこだわったクオリティの高いbuffet料理や飲

み物を楽しみながら、競馬観戦を楽しめるのが大きな特徴です。また、1名2名の少人数から最大52名のパーティールームの利用まで対応しています。平成29年4月には、このダイヤモンドタワーがリニューアルオープンしました。今度のダイヤモンドタワーのコンセプトは「王様のエンターテインメント」です。ベテランの男性ファンを王様、若き男性ファンをプリンセス、女性ファンをプリンセスとして、ダイヤモンド級の料理と心づくしでおもてなしをします。最大のセールスポイントは新設される「ロイヤルボックス」です。広々とした空間で競馬と料理を堪能することができます。大井競馬場では、「ウマイルスクエア」などの広大な空間を最大限に利用し、競馬の面白さだけでなく、大規模な食イベントやイルミネーション、さまざまなエンターテインメントを用意し、老若男女問わず楽しめる都市型アミューズメントスポットとして魅力ある場所を提供していきます。これから年末に向けて大きなレースが相次ぎ、大勢の来場者で盛り上がる大井競馬場に一度訪れてみてはいかがでしょうか。

大井競馬場、最高峰のレース

第62回 東京大賞典 (GI)

平成28年12月29日(木) 16:30発走

一年の総決算として行われる年の瀬のビッグイベント。2011年から地方競馬初となる国際GIレースに格上げとなり国際競走として実施されています。日本全国から集結したダートグレード戦線の実績馬に加え、海外で活躍する実力馬が参戦可能になり、その年のダートNO.1を決める真のグランプリレースとなりました。

「東京大賞典」は、国内の強豪が揃い、ダート最強馬を決める一番大（画像は第61回東京大賞典優勝馬サウンドトゥルー号）



平成27年1月号から48回にわたってお伝えしました「広報担当おすすめスポット“わたしのまち”」は、本号をもって終了いたします。平成29年1月号からは、東京23区の自治体間連携をテーマに、各区の特色ある事業を順次ご紹介いたします。ご期待ください。